

| | | | |
|--|---|---------------------|---------------------|
| 14186 文化人類学 I Cultural Anthropology I 14111 文化人類学 (前期分) | | 1 年次～ 前期 2 単位 | |
| 担当者 | 志賀 市子 | 履修可能学科 | E Pe Pc C選必 W F N |
| | | 関 連 資 格 | 学芸・日本語(E・P e・P c・C) |
| サブタイトル | 文化人類学の思考と実践 | | |
| 授業内容 ・ ねらい | ねらい： 文化人類学とは人間の文化について考え、論じる学問領域である。この授業では初めて文化人類学を学ぶ人のために、文化人類学の考え方と方法について解説するとともに、文化人類学の広範囲なトピックのうち、最も身近なテーマである家族や親族、婚姻、通過儀礼、葬儀、さらにはコミュニティや民族についてとりあげ、世界各地の人間集団によって営まれてきた文化の多様性と普遍性についての理解を深める。 | | |
| 授業計画 | 授業計画 第1回：オリエンテーション 文化人類学とは？ 第2回：文化とシンボル体系 第3回：異文化理解と自文化理解 第4回：フィールドワークと民族誌① 参与観察と聞き取り調査 第5回：フィールドワークと民族誌② 民族誌の方法 第6回：家族、親族① 家族とは 日本の家族、世界の家族 第7回：家族、親族② 親族名称、親族集団 第8回：男と女①ジェンダー 第9回：男と女②婚姻 第10回：儀礼① 通過儀礼 生育儀礼 第11回：儀礼② 葬送儀礼 第12回：人間の集団① コミュニティ、アソシエーション 第13回：人間の集団② 民族集団、エスニシティ 第14回：人間の集団③ 民族集団とアイデンティティ、民族表象 第15回：まとめと試験 | | |
| 教科書 参考書 | 教) 波平恵美子編『文化人類学—カレッジ版』医学書院、2002年(第2版)。 参考書については、授業の中で随時示す。 | | |
| 評価方法 | 1. 試験 (またはレポート) 2. 平常点 (授業中に書かせる小レポート、授業への積極的参加度) 3. 出席率 以上3点から評価する。 | | |
| 事前準備学習 履修条件等 | | | |